

つながる **声** のひろば

市役所への手紙や市ホームページの「市へのご意見」など、皆さんからいただいたご意見にお答えします。

今回は、今年の9月13日に開催する「酒田の花火」に寄せられた声にお答えします。

Q1 どうして花火大会の日程を9月に変えたのですか。

A1 最上川河川敷は、近年河川の増水により花火大会が中止になるリスクが高まっています。梅雨末期の大雨により、最上川下流は令和6年度までの過去7年間で4回も増水しました。河川敷が浸水して会場準備ができずに中止となったり、河川の増水により設営機材が流出したりするなど、今までどおりの8月第一土曜日の開催はリスクが高い状況です。加えて、熱中症になりやすい酷暑時期を避け、可能な限り安全に開催できる日程として、令和7年度と令和8年度の2年間は、9月第二土曜日に開催する準備を進めています。なお令和9年度以降の実施時期は今後検討します。

Q2 予算が厳しいなら、有料の観覧席を無くして身の丈にあった開催規模にすべきではないですか。

A2 有料観覧席を無くして打ち上げ規模を縮小しても、花火大会にかかる経費を大きく削減することはできません。資材費や求められる安全対策の基準は年々上がっており、見応えと安全を確保して花火大会を開催するためには、有料観覧席の収入を充てざるを得ない状況です。
今年の酒田の花火では、お求めやすい価格の観覧席チケットも準備し、選択できる幅を広げました。詳細は、本紙6月1日号でお知らせする予定です。

酒田の花火で手作り花火を打ち上げよう! 「家族で花火づくり体験」参加者募集

酒田の花火で打ち上げる花火の制作現場の見学と、花火玉の制作を体験します。家族の願いを書いた短冊を花火と一緒に打ち上げ、短冊のメッセージは観覧会場で紹介します。

日時／6月21日(土)、7月12日(土)の午後1時30分～3時

場所／(有)安藤煙火店製造工場(中野俣)

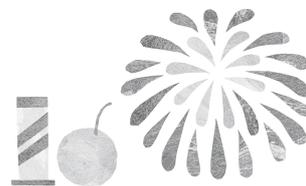
対象／本市在住の家族(子どもは小学生以上)

定員／1回当たり5組20人(1組4人まで。応募多数の場合は抽選)

費用／無料

申し込み／5月23日(金) (必着) まで、はがきの裏面に申込者の ①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤参加者全員の氏名と年齢 ⑥参加希望日 を記載し、〒998-8540(住所不要) 酒田の花火実行委員会事務局(交流観光課内)「酒田の花火 家族で花火づくり体験申し込み担当」へ

- ◆当選者には6月6日(金)までに詳しい案内文を送付します。参加家族には観覧チケットをプレゼントします。
- ◆同一住所当たりの申し込み可能件数は1件です。



酒田の花火実行委員会事務局(交流観光課内) ☎26-5759